



水産情報速報版

2022. 1. 7. No1416
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行＝指導部漁業振興課
URL:<http://www.sogyoren.jf-net.ne.jp/>



謹賀新年

本年も宜しく願い申し上げます

1. 年頭のご挨拶 静岡県漁業協同組合連合会 代表理事会長 藪田 国 之

新年明けましておめでとうございます。

年頭にあたり、県下漁協の組合員並びに J F グループの皆様にご挨拶を申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの流行が始まって 2 年が経過し、第 5 波が収束したのもつかの間、新たな変異ウイルス（オミクロン株）が世界の多くの国と地域に拡大し、日本も徐々に増える傾向にあり、第 6 波としての感染拡大が心配されるようです。

一方、本県漁業を振り返りますと、年を越した第 3 波から度重なる緊急事態宣言の都度、魚価の低迷や養殖魚の出荷減少のほか、燃油価格の上昇による生産コストの増大が影響しました。また、漁協においては水揚量の減少に加え、食堂や直売所の休業等による売上が落ち込むなど、大変厳しい経営が続いています。

黒潮大蛇行は今も続き、発生以来 4 年が経過し観測史上 2 番目の長さを記録するなど、シラス、サクラエビ、アサリなどの沿岸漁業をはじめ、キンメダイ、サバなどの沖合漁業も依然として不安定な水揚状況にあります。

特に沿岸漁業ではサクラエビ資源の回復など明るい兆しも見られるものの、浜名湖におけるアサリの漁獲量は激減し、大変深刻な状況となっています。12 月解禁のシラスウナギ漁も、滑り出しから採捕量がまとまらず今後不安を残す状況です。

また、去年は 7 月の長雨による熱海市伊豆山・逢初川の土石流発生では多くの人命と財産を失うとともに、漁場への影響を受けたほか、8 月に発生した小笠原諸島・福徳岡ノ場の海底火山噴火に由来するとみられる軽石が沖縄周辺に押し寄せ、本県西伊豆や御前崎にも少量ながら漂着し、オイルフェンス活用など対応準備は進んでいますが、船舶の航行や漁業への影響が心配される状況にあります。

こうした中で、本会では昨年度策定した JF グループの運動方針にかかる県版アクションプランの内容に沿って事業推進を図り、「新・旧リース事業」や「機器等導入事業」に加え「水産イノベーション対策支援推進事業」に取り組むとともに、既に合併した漁協への事後指導や要改善漁協に対する経営改善指導のほか、新たな経営対策が必要な漁協への中期経営計画の策定支援など、漁協系統組織の基盤強化に努めています。

一方、本会経済事業の柱である石油購買事業は、給油船「漁連丸」やタンク等の出荷施設の効率的な運用を図りながら、会員の理解と協力を得て拡販に努めるほか、販売事業では EC サイトである全漁連の「ギョギョいち」や JA 静岡経済連の「手しお屋」に漁協の商品等を案

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

内するなど、積極的に取り組んでいます。

また、温水利用事業では 1972 年に県より種苗生産業務を受託して以来、今年 3 月で 50 年を迎え、新たに 4 月からスタートする第 8 次静岡県栽培漁業基本計画に沿って、今後も沿岸漁業の振興発展のため、種苗生産の課題を克服し、安定供給に万全を期していきます。

どうか、会員並びに関係する皆様方におかれましては、JF グループの一員として、一層のご支援、ご協力を切にお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとって良い年となるよう祈念して新年の挨拶といたします。

2. 小松ゆらさんが日本放送協会会長賞受賞！ — お魚料理チャレンジ部門で入賞 —

既報（No.1414 号：11 月 5 日付発行）にて、静岡県おさかな普及協議会が開催したシーフード料理コンクールで、最優秀賞を受賞した小松ゆらさん作成の「イカ（魷）した味（鰯）なサバ（鯖）ーガー」を全漁連が主催する第 22 回シーフード料理コンクールに推薦することをお伝えしましたが、このたび当該コンクールが開催され、お魚料理チャレンジ部門で見事に日本放送協会会長賞（4 位）を受賞しました。審査委員からのコメントでは「ハンバーグにイカ、アジ、サバを使うなど魚介藻類の消費拡大にも貢献、ソースとの相性もよく子どもたちにも人気が出そう」との講評を頂きました。

なお、本作品は本会 HP 上にレシピ動画を掲載していますので、興味のある方は動画を参考に調理に挑戦してみてください。

<レシピ動画>http://www.sogyoren.jf-net.ne.jp/recipe_2021.html

3. 電帳法改正・インボイス制度等を説明！ — 漁協決算税務研修会開催 —

去る 12 月 16 日に本会協同組合課の主催で、2021 年度漁協決算税務研修会が静岡市の静岡中央ビル会議室にて開催されました。

主な内容は、①2021 年度税制改正の内容、②改正電子帳簿保存法（電帳法）の内容、③インボイス制度への対応についての 3 点で、それぞれについて説明が行われました。

電帳法については導入に 2 年間の猶予が設けられたので、実際には 2024 年 1 月からの開始となります。インボイス制度については、2023 年 10 月から開始となるため、いずれも期間はあるものの今のうちから準備が必要となります。

なお、インボイス制度及び卸売市場特例について、農水省及び財務省による説明会が開催されることとなりました。

開催日程は下記のとおりです。詳細は県より発出されます。

<静岡県会場での参加>

1 月 20 日（木）13：30～15：30 場所：静岡県庁別館 8 階第 1 会議室 CD

<オンラインでの参加>

①1 月 18 日（火）11：30～ ②1 月 20 日（木）13：30～ ③1 月 27 日（木）14：00～

いずれも 2 時間程度の予定。（Skype for Business により参加）

本紙は、県内の漁業振興を目的に（公財）静岡県漁業振興基金の協力により発行する定期刊行物です。

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう